



一卷頭言一

大会長挨拶

第25回総会学術大会開催のご案内

大会長 高橋 堅治

第25回総会学術大会は、2005年7月30日（土）、31日（日）の2日間にわたり、仙台市情報・産業プラザ（ネットU）にて開催致します。この会場は、JR 仙台駅より徒歩3分、仙台有数のインテリジェントオフィスビル「アエル」の5、6階に在ります。

Rentgen によりX線が発見（1895年）されてから110年、長岡半太郎先生が原子核模型を発表（1903年）されてからでも100年以上を経過しております。また、本学会も1981年に京都にて第1回目の学術大会を開催して以来25回目となります。我々は今後の核医学技術のあり方を考えて行きたいと思い、今回のテーマを「振り返り、そしてこれからの核医学技術へ」としました。

学術大会の内容は一般演題を中心に、市民公開講座を川島隆太先生（東北大学未来科学技術共同研究センター教授）に「脳を鍛えて、ボケを防止する」と言うテーマでお願いしました。これからの高齢化社会に向けて、きっと役立つ話になると思います。特別講演には岩田錬先生（東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター教授）に「PET 核医学を支える薬剤合成とその自動化技術—発展の歴史と現状—」をお願いしました。FDG とヨウ化メチルの自動合成装置を例に、自動合成発展の歴史を概観し分子イメージングの重要なツールとしての PET 薬剤とその合成法の現状。をお話していただきます。

恒例となっている海外招待講演は、SNMT 前会長にお願いする予定です。卒後教育プログラム（基礎講座）は2直列4講座で行い、基礎講座Ⅰ「PET における吸収補正—Ge から X-CT まで—」を四月朔日聖一会員（東北大学サイクロトロン RI センター）、基礎講座Ⅱ「PET 検査の放射線防護—日英を比較しながら—」を渡辺浩会員（横浜労災病院）にお願いし、現在資格や講習会等の話題が出ている PET 関連になりました。基礎講座Ⅲ「核医学技術領域の画像処理」を久保直樹会員（北海道大学医学部）、基礎講座Ⅳ「PET による脳循環代謝測定」を庄司安明会員（秋田県立脳血管研究センター）にお願いしてあります。

シンポジウムは昨年の千葉大会に続き、EBM（科学的根拠に基づいた医療の実施）の確立に向けての企画になります。経験に委ねられてきた要素の大きい医療の中で、核医学検査に EBМ が確立されている事例は極めて少なく、より以上の信頼を得るにはどのような技術的要素が必要かを討論していただきます。このように豊富な内容となっておりますが、メインは演題数90の一般研究発表です。このような歴史ある本学術大会を開催させていただくことに重責を感じております。福喜多学会長をはじめとし、理事および評議員の皆様のご指導と会員の皆様のご支援と御協力をいただき、阿部養悦実行委員長（東北大学病院）、井上修副実行委員長（東北労災病院）、及川喜弘副実行委員長（仙台医療センター）を中心に宮城県の本会会員の力を集結した大会になるものと確信いたします。多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。